

## 科 目 名

# 人間と教育 I Human and Education I

1年 前期 2単位 選択

八 田 豊

## 概 要

近年、国際化・情報化・価値観の多様化などに伴い変化の激しい社会になってきた。とりわけ学校においては、登校拒否・いじめ・学級崩壊・モンスターペアレンツなど、多種多様な問題が生じている。これらの問題に適切に対処するには、人間はどのように成長・発達していくかという「人間と成長・発達」の問題、「文化の伝達と教育」「社会化と教育」などの問題について整理しておく必要がある。すなわち、客観的・実証的にとらえる理論的知識、効率よく教育するための実際の・技術的な知識が必要となる。

そこで本講座では、「人間と教育」の係わりを中心に据え、教育の根底にあるものを心理学・社会学・哲学・倫理学等の領域から考察していく。教育の意義・重要性・楽しさ・奥深さを知るきっかけとなることを期待したい。

## 授業の目標

- ・教育の本質を理解して自己の教育観を身につける。
- ・教育の理念、教育の歴史および思想について理解する。
- ・教育を考察する中で人としての生き方を身につける。

## 授業計画

- 1 イントロ ～教育とは何か～（教育の意義、教育の種類）
- 2 最近の教育事情（青少年・保護者・教員の諸問題）
- 3 古代ギリシャ、ローマ時代の教育事情（ソクラテスとプラトンの教育論）
- 4 中世における宗教改革の教育史的意義（ルターとプロテスタンティズム）
- 5 近世の教育事情とコメニウスの教育論
- 6 イギリス市民革命期の教育とロックの経験主義的教育論
- 7 フランス絶対主義体制とルソーの教育論
- 8 市民革命期の教育とペスタロッチの教育論
- 9 ドイツの市民革命期の教育とフレーベルの教育論
- 10 デューイの教育論
- 11 諸外国の教育事情（フィンランド、インド）
- 12 日本の古代・中世の教育（識字教育と国風文化、世阿弥「花伝書」にみる教育論）
- 13 江戸の教育力（藩校と郷学、寺小屋）
- 14 明治維新と教育
- 15 まとめ（定期考査）

## 授業方法

- ・様々な資料を配付して歴史的背景と現代的意義を考察する。説明による講義形式を基本とするが、必要に応じて討議する授業を創っていきたい。
- ・授業の後半（15分程度）に、人（教員）としての生き方についての事例紹介を適宜行う。

## 評価方法

出席状況（授業中のミニレポートで出席確認）  
授業中の態度  
定期考査

## 教 材

特に指定しない（必要に応じて参考書を紹介）

## そ の 他